

平成 28 年度牧之原市一般会計補正予算案（第 1 号）について

本予算は、今年度 1 回目の補正である。耐震シェルター設置事業補助金の新設や国庫補助金の内示に伴い津波避難タワー及び防災公園の事業費を追加し、市民の安全安心対策を強化したこと、片浜小学校を相良小学校に統合するための経費の計上が主な内容となっている。

補正額は、215,711 千円、率にして 1.1%の増となった。（平成 27 年 6 月補正額 104,393 千円の減額）

1 予算額

当初予算	19,400,000 千円	
補正額	215,711 千円	
補正後予算	19,615,711 千円	

2 補正予算の概要

(1) 歳入	<u>215,711 千円</u>	
国庫支出金	109,600 千円	社会資本整備総合交付金
県支出金	9,558 千円	緊急地震・津波対策等交付金
繰越金	32,410 千円	
諸収入	9,143 千円	地震・津波対策事業交付金ほか
市債	55,000 千円	旧合併特例事業
 (2) 歳出	 <u>215,711 千円</u>	
庁舎施設管理費	3,639 千円	会議室可動式間仕切り改修
自治基本条例推進費	1,923 千円	片浜地区まちづくり事業
保育園管理費	1,242 千円	菅山保育園臨時駐車場整備
災害対策費	2,500 千円	耐震シェルター設置事業補助
津波防災まちづくり事業費	172,000 千円	津波避難タワー、防災公園
片浜小学校統合推進費	17,797 千円	スクールバス購入ほか
サブグラウンド改修費	5,800 千円	実施設計
その他	10,810 千円	予備費ほか

資料 1

新規事業等参考資料

情報解禁日

議会報告後

事業名	片浜地区まちづくり事業		2 款 1 項 9 目 6 事業	自治基本条例推進費
予算額 (うち一財)	補正前	6月補正額	補正後予算現計	担当課 政策協働部 地域創生課 田形正典(2531)
	8,059 千円 (1,903) 千円	1,923 千円 (1,923) 千円	9,982 千円 (3,826) 千円	

1 事業目的

片浜小学校は平成29年4月に相良小学校との統合が予定されている。地域との関わりが深い小学校が統合されることにより、地域の衰退が懸念されるため片浜地区の地域づくりが課題となっている。

このため、片浜地区の地域づくり計画の策定について市民ファシリテーターを活用して、地域の人々が主体となって策定することにより、片浜地区の活性化を図る。

2 事業概要

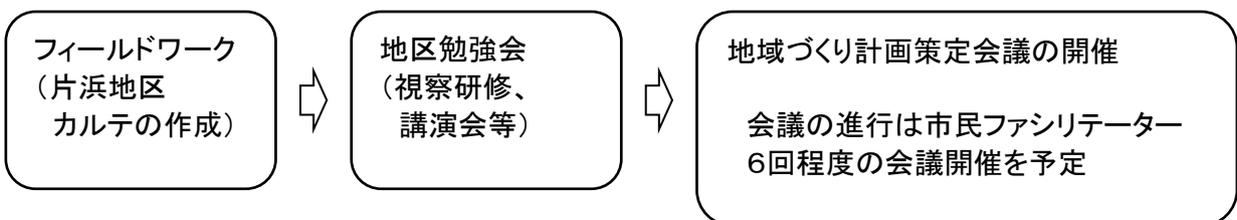
- ・フィールドワークによる地区カルテの作成
地域の実態を知るための資料収集や作図等

- ・勉強会の実施
地域づくり事例の視察研修や講演会の開催等

- ・計画策定会議の開催
市民ファシリテーターが会議進行を行い、ワークショップ形式(男女協働サロン)で意見の集約を行い地域づくり計画を策定する。

3 その他

進め方のイメージ図



注: 予算額(うち一財)は財源内訳の一般財源額

資料 2

新規事業等参考資料

情報解禁日

議会報告後

事業名	耐震シェルター設置事業		9 款 1 項 5 目 1 事業		災害対策費
予算額 (うち一財)	補正前	6月補正額	補正後予算現計	担当課	総務部 防災課 野田(2452)
	41,067 千円 (34,502) 千円	2,500 千円 (2,085) 千円	43,567 千円 (36,587) 千円		
<p>1 事業目的</p> <p>東海地震や南海トラフの巨大地震の発生が懸念される中、熊本地震においても旧建築基準法により建築された住宅等が倒壊し多くの死傷者が出る被害に見舞われた。市では、住宅の倒壊から命を守るため住宅の耐震化を図るプロジェクト「TOUKA I-O」総合支援事業を国、県と連携し取り組んでおり、高齢者や子育て世帯への市独自の上乘せ補助も平成30年度まで延長し、耐震化を進めている。</p> <p>さらに今回、地震で住宅が倒壊しても安全な空間を確保することができ、経済的負担の少ない「耐震シェルター」の設置についても補助金制度を設け住宅耐震化の一つの選択肢として普及を図り、倒壊家屋から命を守る取り組みを進める。</p> <p>2 事業概要</p> <p>耐震シェルター設置事業補助金内容</p> <p>1 対象者 牧之原市に住民登録を有し、市税等を滞納していない者</p> <p>2 対象条件 昭和56年5月以前の旧耐震基準により建築された木造住宅で倒壊の危険性が高い住宅(耐震評点1.0未満) ※事業に要する経費は、耐震シェルター本体及びその設置に要する費用とし、設置のための床下工事等も対象</p> <p>3 補助率 1/2以内(ただし平成28年度から30年度は3/4)</p> <p>4 上限額 250,000円/台</p> <p>3 その他</p>					

注: 予算額(うち一財)は財源内訳の一般財源額

資料 3

新規事業等参考資料

情報解禁日

議会報告後

事業名	津波防災まちづくり事業		9 款 1 項 5 目 3 事業	津波防災まちづくり事業
予算額 (うち一財)	補正前	6月補正額	補正後予算現計	建設部 建設課 矢部 (3272)
	599,134 千円 (11,470) 千円	172,000 千円 (2,414) 千円	771,134 千円 (13,884) 千円	

1 事業目的

本市の静岡県第4次地震被害想定では、最大震度7、最大津波高さ14m、津波浸水区域10.8Km²と想定され、死者数は14,000人でその内、津波による死者数13,000人と公表されている、市民のいのちを守るため、地震だ。津波だ。すぐ避難を合言葉に住民一人ひとりが率先避難、地域ぐるみによる避難行動を実践しています。

津波対策の施設整備は、津波浸水区域内に津波避難施設12基及び避難地・避難路20箇所の整備を進めています。

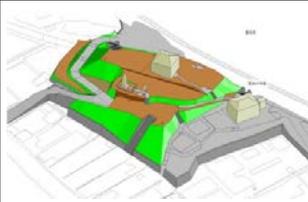
津波避難施設については、平成26年度から工事に着手し4基が完成、現在4基が工事中となっています。今年度は、3基(榛原1、相良2)の工事着手を予定しています。残り1基(Aブロック)については、年度内の工事着工に向け予算措置をしたところです。今年度末には、12基中11基完成し、整備率91.6%となる。

今回の補正は、避難タワー2基、いのち山及び防災公園について、国の内示を受けて、工事費の増額をするもの。国県補助金の他、起債を活用する。

2 事業概要

施設区分	ブロック名等	事業内容等
津波避難タワー	Aブロック(勝間川港橋付近)	測量設計等委託料、 用地費及び本体工事 の一部
	Kブロック(福岡公民館北側)	
いのち山	Jブロック(相中サブグラウンド南側)	
防災公園	Nブロック(金刀毘羅山)	

3 その他

ブロック名等	Kブロック(福岡区公民館北側)	Jブロック(相中サブグラウンド南側)	Nブロック(金刀毘羅山)
場所	福岡地内	大江地内	相良・福岡地内
パース			

Aブロック(勝間川港橋付近)は調整中

注: 予算額(うち一財)は財源内訳の一般財源額

資料 4

新規事業等参考資料

情報解禁日

議会報告後

事業名	片浜小学校相良小学校統合推進事業		10 款 2 項 1 目 4 事業	片浜小学校相良小学校統合推進事業費
予算額 (うち一財)	補正前	6月補正額	補正後予算現計	担当課 教育文化部 教育総務課 学校教育課 石川 (3335)
	0 千円 (0) 千円	17,084 千円 (3,784) 千円	17,084 千円 (3,784) 千円	

1 事業目的

片浜小学校と相良小学校が平成29年4月に統合される。
両校の円滑な統合を推進するため、片浜地区児童の通学方法等を確立するとともに、両校児童の交流、記念アルバムの作成等を行う。

2 事業概要

○スクールバスの購入

- ・送迎用大型バス1台を購入する。
- ・補助席込み45人乗り(正席37人)
- ・14, 248千円(手数料、公課費等含む)

○児童交流の実施

- ・片浜小学校と相良小学校の児童の交流のためにバスの借り上げを行う。
- ・相小からは学年ごと8事業(砂の造形、片浜地区の文化財や農家を訪問)を行い片小と交流する。
- ・片小からは全校で相小に行って一緒に授業を行う。(3回)
- ・605千円

○カラーインクジェットプリンターの購入

- ・統合関係のチラシを作成するのに必要な印刷機及びインク等消耗品を購入する。
- ・243千円

○DVD、アルバムの作成

- ・片浜小学校の映像を残すためDVDを作成する。
- ・在校生について「片浜小学校お別れアルバム」を作成する。
- ・1, 988千円(DVD1, 313千円、アルバム675千円)

3 その他

注: 予算額(うち一財)は財源内訳の一般財源額